

令和4年度全国学力・学習状況調査、七宗町における調査結果の概要

七宗町教育委員会

1. 全国学力・学習状況調査（全国学調）とは

次の3つのことを目的として、全国一斉に行う調査です。

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査方法や内容については、小学校6年生を対象に国語と算数、理科、中学校3年生を対象に国語と数学、理科について、「身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等」と「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容」を一体的に問う問題で実施する。また、質問紙調査（学習意欲や生活の諸側面等に関する質問）を実施する。今年度は4月19日に実施。

2. 調査結果から

＜教科に関する調査結果より＞

【良好であると分析される内容】

(小学校)

国語「登場人物の相互関係について描写を基に捉える」

算数「図形の意味や性質、構成の仕方について理解している」

理科「粒子」を柱とする領域(4,5年)

(中学校)

国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」

数学「照明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解している」「確率の意味を理解している」

理科「生命（生物の体のつくりと働き）」を柱とする領域

【課題であると分析される内容】

(小学校)

国語「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」

算数「百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求める」

理科「生命・地球」を柱とする領域(3,4年)(中学校)

国語「考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」

数学「事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明すること」

理科「地球（大地の成り立ちと変化）」領域

＜児童生徒質問紙に関する調査結果より＞

【全国平均と比べて比較的よい項目】

(小・中学校) 朝食を毎日食べていますか

(小・中学校) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

(小・中学校) 人が困っているときは、進んで助けていますか

(小・中学校) やると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

(中学校) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【これから伸ばしたい項目】

(小・中学校) 学校で、学級の生徒と意見を交換する場でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか

(小・中学校) 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか

3. 今後の取組について

上記の結果を踏まえ、以下のことに努めていきます。

◇七宗町が取り組んでいる「基礎学力定着事業」を継続して取り組み、「授業の充実」「学習習慣の定着」「生活習慣の定着」の3本柱について、学校と町教育委員会が一丸となって実践を重ね、深めていく。

◇学校(保育園)・家庭・地域が連携して、L S S (Life Study Support)を推進し、「生活・学習・支援」づくりを通じて、子どもたちを育てていく。

◇「一人一台タブレット」を活用した授業実践(デジタル教科書の活用)や家庭学習(持ち帰りタブレット)に取り組み、子どもたちの主体的な学びを充実させていく。